

事業報告書（令和4年度）

事業名 (支え合う地域づくりを目指して) 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小槇 章生

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

別紙（令和4年度 津倉わいわいESDの活動記録綴り）のとおり

(6月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 6月6日 ESD総会「2021年度活動の総括、2022年度の年間計画の承認」
13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙「ESD活動記録」のとおり
- ② 6月13日 13:00~15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・手芸「フェルトで作るバラ」
- ③ 6月20日 13:00~15:00 津倉町集会所 14名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・ペタンク大会
- ④ 6月27日 13:00~15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・ソフトダーツ大会

(7月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 7月4日 13:00~15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり
- ② 7月11日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・脳トレゲーム、ペタンク大会
- ③ 7月18日 休み
- ④ 7月25日 13:00~15:00 津倉町集会所 11名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・ダーツ大会

(8月活動)

(ふれあいカフェ)

コロナ感染拡大および熱中症予防のため活動休止

(9月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 9月5日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・ペタンク大会
- ② 9月12日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加（対象：津倉町在住）
内容：別紙のとおり・・・手芸「キャンディ・マグネット」、脳トレ

- ③ 9月19日 休み
④ 9月26日 13:00~15:00 津倉町集会所 9名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり

(10月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 10月3日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ペタンク大会
② 10月10日 休み
③ 10月17日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「小物入れケース作り」
④ 10月24日 13:00~15:00 津倉町集会所 10名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり
⑤ 10月31日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・防犯教室

(11月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 11月7日 13:00~15:30 津倉町集会所 11名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ペタンク大会
② 11月14日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・健康教室(フレイル予防)
③ 11月21日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「サンタとスノーマンの根付け」
④ 11月28日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・前週の手芸「スノーマン」の延長

(12月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 12月5日 13:00~15:00 津倉町集会所 11名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・脳トレゲーム
② 12月12日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ペタンク大会
③ 12月19日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「飾り羽子板」作り

(1月活動)

(ふれあいカフェ)

- ① 1月16日 ESD 役員会 12:00~ 津倉町集会所 4名参加
・新年度の活動計画について協議
13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ぜんざい提供、新年すごろく遊び
② 1月23日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加 (対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ペタンク大会

- ③ 1月30日 13:00~15:00 津倉町集会所 13名参加(対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり

(2月活動)

(ふれあいカフェ)

- ④ 2月6日 13:00~15:30 津倉町集会所 11名参加(対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・脳トレゲーム
- ⑤ 2月13日 13:00~15:00 津倉町集会所 15名参加(対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・手芸「お雛様の貼り絵」
- ⑥ 2月20日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加(対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ペタンク大会
- ⑦ 2月27日 13:00~15:00 津倉町集会所 12名参加(対象:津倉町在住)
内容:別紙のとおり・・・ダーツ大会

(講演会)

- ・ **7月24日** 学習講演会 10:00~ 演題「知って得するインフレ下の資産の守り方」
講師:野村証券 ファイナンシャルアドバイザー
内容:岸田政権の提唱する資産倍増計画とは何か?
- ・ **9月24日** 学習講演会 10:00~ 演題「高齢者の支援」
講師:旭竜学区連合町内会長
内容:高齢者の困りごとを支援する「お助け隊」について
- ・ **10月31日** 防犯講座 14:00~ 演題「特殊詐欺に遭わない対策」
講師:西警察署交番
内容:特殊詐欺の見分け方と対応について
- ・ **11月14日** 健康教室 14:00~ 演題「フレイル予防」
講師:介護予防センター 作業療法士
内容:高齢者の日常生活における取組について
- ・ **1月15日** 学習講演会 10:30~ 演題「京山学区の現況と岡山市政報告」
講師:岡山市議会 議員
内容:地域の課題と岡山市の未来について

(子供 お月見茶会) 8月開催予定の「子供夏祭り」がコロナ感染急拡大ため中止しました。その後、開催趣旨の代替策として「子供 お月見茶会」を開催した。

- ・ **11月6日** お点前:子供会の有志
お客様:町内会の皆様

※コロナ禍により中止した活動

- ・8月計画 子ども夏祭り 中止
- ・年間の諸々の講演会・見学会計画 中止
- ・伊島小学校の課外授業 中止
- ・ふれあいカフェのクリスマスパーティ中止

※ふれあいカフェ : 毎週:月曜日(13:00~16:00)開催 常時11~15名参加

高齢者の居場所づくり活動を図りながら「支え合う地域づくり」を目指す

{茶話会以外の特記イベント}

●手芸

- ・フェルトで作るバラ
- ・小物入れケース
- ・キャンディ・マグネット
- ・サンタとスノーマンの根付け作り
- ・飾り羽子板
- ・お雛様の貼り絵

●健康体操およびペタンク大会、ダーツ大会

●脳トレ(間違い探し、数字合わせ、思い出しゲーム等)

2. ESDの視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

- ・介護予防センターから作業療法士を招いて、フレイル予防の対応について講演を行い、高齢者が住み慣れた地域に住み続けられる対策を図った。高齢者自身は、日常生活の中で意識的に予防を実践している。
- ・町内全体で「高齢者対策」に取り組むため、困りごと・支援してほしい事のアンケート調査を行った。調査から困りごとが明らかになったことで、周りから「お助け隊」を結成して高齢者の生活支援をしたいという提案が起きた。
- ・今年も町内で多数の人が参加可能で持続可能なイベント行事を企画し、「支え合う地域づくり」の醸成を図る計画だったが、多くの企画がコロナ禍で中止になったのは残念である。唯一、子ども夏祭りに代えて「子供茶会」を急遽開催したが、改めて幅広い年齢層の参加から絆醸成に繋がることを実感した。

② どのように学び合いを取り入れたか

- ・高齢者対策については「お助け隊」を結成して、持続的に困りごと支援に乗り出す計画であるが、一方で周到な計画準備が必要と考えている。については、既にこの活動をスタートしている町内会代表を招いて学習を行った。困難な事態も想定される中で実体験を知ることが出来、自信になった。
- ・政府の提唱する資産倍増といっても理解できない人も多いと考えて、学びの視点から経済指標が読める学習を行った。そのために専門家を招いて講座会を開き、経済社会への理解度を高めるとともに、持続的にその地域に住み続けるための資金づくりを考える機会をつくった。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

・学びから実践に移行するためには、実際に行っている人の体験談、経験値を知ることが一番のきっかけとなる。頭で学習するだけでは、困難度や課題が理解できないことから途中挫折に繋がる。なので、その道のエキスパートや現職の体験を知ることに関心した。

① 高齢者の支援 ② 特殊詐欺の対策 ③ 介護予防の対策 ④ 経済社会の理解 ⑤ 地域の現況把握

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

① 高齢化対策として「支え合う地域づくり」を目指している。そのための新企画、既存事業の継続を今年も行ってきた。「ふれあいカフェ」は毎週1回のペースで開催し、高齢者の健康管理や困りごとの相談に対応してきた。参加者からは、期待される集いとなり支援の一部は達成している。

また、町内全体の高齢者を対象にした「困りごとアンケート」を実施して、高齢者が何に困っているかの把握を行った。この調査結果から新たな支援活動が必要なことが判明した。今後は町内会と協働で「お助け隊」を結成して、ゴミ出し、庭の清掃など諸々の支援を行なう構想が出来上がった。

② 町内の課題に取組みリーダーシップの取れる人材の発掘育成は、どの地域でも課題の一つと思われるが難しい問題である。地域役員の高齢化はドンドン進み、緊急課題となっている。ESDの学習講座会を通じて各種人材の発掘養成を行う計画は、今年もコロナ禍で中途半端に終わった。しかし、年間の高齢者対策を通して人材候補複数が発掘できたので養成に向けた活動を継続する。

③ 地域の世代を超えた老若男女の交流を目指しており、その中で地域の絆の再生を図りたい。特に子供を参加させたイベントは、両親のみならず祖父母や近隣住民の参加が期待できる。今年もコロナ禍で中止となったイベントも多いが、子供茶会、ラジオ体操など目的を達成できた活動もあった。わずかな機会であったが、ラジオ体操には毎朝約50名参加（3週間）もあり地域の交流には役立った。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域のESDの取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

・独居老人の世帯が急激に進んでいる中で、今まで町内会として「どのような生活状況なのか」把握しきれなかった。今回、高齢者の生活実態調査を行ったことで、課題や取組むべき方向が見えてきた。まずは、高齢者に対する必要な支援を行うことから「支え合う地域づくり」に向けた行動を起していきたい。10年後は独居老人世帯が30%程度となっている。「住み続けられるまちづくり」のために地域で取り組まなければならない課題であるが、ESD活動で先行した調査と支援を行う計画である。最終的には、町内会の事業へシフトして持続化を図る。

・今年もコロナ禍で活動が制約されたので、地域リーダーの発掘に充分には応えられなかったが、期待できる候補はいる。来期の町内会役員の改選に向けて人材発掘に努めたい。今後もリーダーシップが見えるようなイベントを企画して、リーダーの発掘と養成を町内会と連携して行いたい。